

2026年3月23日

各位

公益財団法人 北海道銀行中小企業人材育成基金

2025年度「中小企業技術活性化助成事業」「中小企業人材育成助成事業」 における助成金交付企業の決定について

公益財団法人 北海道銀行中小企業人材育成基金（理事長 笹原 晶博）は、2025年度「中小企業技術活性化助成事業」および「中小企業人材育成助成事業」につきまして、助成金の交付企業を下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

本事業は、道内事業所の大部分を占める中小企業において、大企業と比べて研究開発費や人材育成にかかる費用等に制約がある状況をふまえ、その優秀な能力や発想を十分に発揮していただくことを目的として助成を行うものです。

引き続き、本事業を通じて、地元中小企業の技術水準の向上や新技術・新商品の研究開発、人材育成等に対する支援を積極的に行ってまいります。

記

1. 「中小企業技術活性化助成事業」助成金交付先（五十音順）※今回で14回目の交付となります。

社名	所在地	対象事業
株式会社 AIS 北海道	札幌市	・ Debranching TEVAR バイパス用人工血管の開発
株式会社北海道バイオインダストリー	札幌市	・ 北海道産玉葱を活用した高付加価値「玉葱餡パン」の研究開発～BRC 製法による旨味・栄養強化と地域資源循環モデルの構築～
北海道ワイン株式会社	小樽市	・ 「100%北海道産ナイヤガラブドウ」を用いたブドウ果皮粉末製造における製造工程改善
株式会社 MJOLNIR SPACEWORKS	札幌市	・ 量産可能かつ低コストなハイブリッドロケットエンジンの開発 ・ 世界最高水準の性能を有し、かつ低コスト・短納期の無溶接シームレスタンクの開発
株式会社 Real Touch	札幌市	・ 力覚を有するテレオペレーションロボットシステムの研究開発

※2026年3月23日（月）開催の中小企業技術活性化助成金贈呈式の様子



左から
株式会社 MJOLNIR SPACEWORKS
株式会社北海道バイオインダストリー
笹原理事長
株式会社 AIS 北海道
北海道ワイン株式会社

2. 「中小企業人材育成助成事業」助成金交付先（五十音順）※今回で9回目の交付となります。

社名	所在地	対象事業
株式会社エコニクス	札幌市	・ 生成AI活用研修の実施
ポラリスソリューションズ株式会社	札幌市 (開発拠点)	・ 「データモデリング教育コース」をDX人材向けにカスタマイズした教育研修の実施

※上記2つの助成事業にかかる詳細は、別紙をご確認ください。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人 北海道銀行中小企業人材育成基金 事務局 高道 TEL (011) 222-4832

公益財団法人 北海道銀行中小企業人材育成基金

2025 年度中小企業技術活性化助成金

主な応募資格	① 道内に主たる事業所を有し、原則として1年以上継続して事業を営んでいる 中小企業・個人事業主	
	② 資本金3億円以下（卸売業：1億円以下、小売・サービス業：5千万円以下）又は従業員300人以下（卸売・サービス業：100人以下、小売業：50人以下）	
	③ 業種による制限は設けません。 製造分野だけでなく、研究・開発、販売など、幅広い分野が対象です。	
	④ 前年度の助成金交付者は助成対象とはいたしません	
	※その他詳細は「2025年度中小企業技術活性化助成事業について」をご覧ください。	
助成内容	使途	・新技術・新製品の研究開発を行うために必要な費用 ex) 新サービスの研究・開発、特許等知的財産権の取得、システム設計・開発、試作品設計・製作等
	金額	・プロジェクト費用の範囲内とし、1助成先につき100万円を限度とします。
応募方法	・募集期限：2025年12月12日（金） 期間内に当財団所定の「中小企業経営・技術活性化助成金交付申請書」に参考資料を添付してお申込み下さい。	
選考方法 助成時期	・選考委員による書類審査のほか、必要に応じてプレゼンテーションを行っていただく場合がございます。 ・選考委員の審査結果をもとに、当財団理事会において助成金交付者を決定いたします。 ・助成金交付者の発表並びに授賞式は、2026年3月を予定しております。	
留意事項・その他	① 選考された助成対象プロジェクトについては、社名・代表者名・研究開発テーマ・研究開発概要等、ホームページでの公開や新聞等への発表を予定しております。 ② ご提出いただいた申請書及び添付資料等は返却致しませんので予めご了承ください。 ③ 「採」・「否」の結果は、申請者全員に文書にてご通知します。なお、「採」・「否」の理由に関するお問い合わせには、応じかねますので予めご了承ください。 ④ 助成金交付後1年経過時点で進捗状況について書面でご報告願います。また、3年経過時点で助成対象事業の進捗状況についてヒアリングを実施させていただきます。 ⑤ 当財団のセミナー等で成果発表をお願いする場合がございますので、その際はお引受け願います。	
お問合せ先	公益財団法人北海道銀行中小企業人材育成基金 事務局：高道・湯谷 〒060-8676 札幌市中央区大通西2丁目5番地 北海道銀行法人ソリューション部 地域創生室内 TEL 011-222-4832 http://www.lilac.co.jp/jinzai/index.html	

